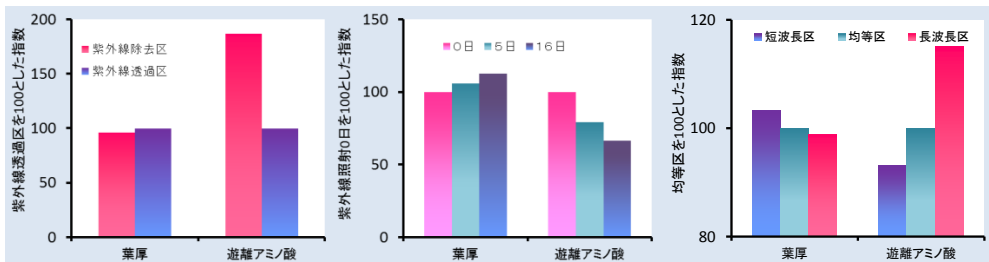


被覆茶の品質向上に有効な光質を持つ 新たな遮光資材の開発 (農林センター)

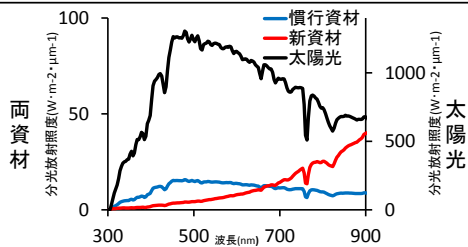
LED等を用いた試験により、被覆茶の品質向上に有効な光質を特定し、それを再現できる新たな遮光資材を開発（特許出願中）

品質向上条件に有効な



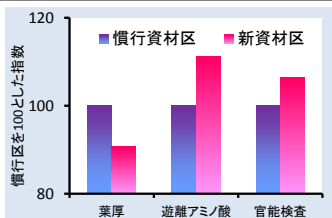
- ① 紫外線除去により
葉厚薄 — 品質良
アミノ酸多 — 味良
- ② 紫外線照射が短いほど
葉厚薄 — 品質良
アミノ酸多 — 味良
- ③ 長波長光が多いほど
葉厚薄 — 品質良
アミノ酸多 — 味良

開発された新資材の特徴



- ① 本ずと同様に紫外域光が少なく、長波長光が多い。
- ② 新資材の展張方法を考案

現地実証結果



製茶品質が向上！

- ・紫外線の影響が小さいほど、新芽葉厚はより薄く、アミノ酸含量は増加
- ・短波長より長波長光が多い光質条件で新芽葉厚はより薄く、アミノ酸含量が増加
- ・これらを再現可能な資材により現地実証試験でも製茶品質が向上

- ・ 慣行資材の「黒色化繊」より被覆茶の品質向上に有効な資材です。
- ・ 伝統的な「本ず被覆」より資材の入手が容易で設置・撤去が簡単です。
- ・ 天然素材であるため土壌還元が可能な資材です。
- ・ 現地活用事例：茶棚の上段に黒色化繊、下段に新資材を展張→製茶品質向上